

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟	代表者	高見優	法人・事業所の特徴	平成18年に開所して17年となりました。民家を改装したダイルールの大きな窓からは陽ざしがあふれ、家庭的な雰囲気の中で季節を感じる庭を見ながら一緒に食事し、利用者様と共に生活し、さりげなく丁寧に支援を行うことを大切にしています。「居心地の良い場所」を目指し小規模多機能「ささえ愛あわやま」の特徴を活かした、支援のかたち、深い馴染みの関わりから「看取り」までご家族様と一緒に大切に行ってきました。住み慣れた地域でご自分らしく穏やかな日常生活を送っていただき、ご縁を大切にありのままの利用者様の望まれる生活を支援しています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護ささえ愛あわやま	管理者	伊藤耕太郎		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	1人	2人	人	1人	1人	人	2人	人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 職員自己評価を来年度は良くできていると言える職員が増えるようにこれからも誠実に日々のケアに取り組んでいきます 素早く変化の情報を申し送りに記載、記録の徹底を実践します コロナが終息したら「家族の会」として遠慮しないで自由に話せる機会をつくります 	<ul style="list-style-type: none"> 申し送り簿や職員会議、ミニカンファレンスを通じて情報の共有をしながら、誠実に日々のケアに取り組みました 「家族の会」はコロナ禍の為開催できませんでした。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で事業所内に入っていないのでわからないことも多いが、運営推進会議で細かく報告は受けています 取り組みの結果を運営推進会議に報告し意見をいただき反映しています 	<ul style="list-style-type: none"> 職員の自己評価を来年度は良くできていると言える職員が増えるように、これからも誠実に日々のケアに取り組むことを継続します 素早い記録の徹底を継続します コロナが終息したら「家族の会」を開催し遠慮しないで自由に話せる機会をつくります
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の中、感染予防に充分に配慮した環境を継続します コロナ禍で事業所の中に入っただけことが難しいため事業所での生活や環境が分かるようにショートムービーを製作し観て見ていただく機会を作ります ダイルールの大きな窓から季節を感じられ、家庭的な日常音、料理の匂いや利用者、職員の笑い声が聞こえる居心地の良い環境を守り継続します 玄関の施錠は防犯上必要だと機会があるたびに発信していくことを継続します 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の感染予防に必要な除菌、消毒、アクリル板などの準備を整えました コロナ禍のなか、来所者には感染予防に充分配慮しながらわずかな時間でも少しでも居心地の良い時間を提供しました 運営推進会議では2回ショートムービーを観ていただきました コロナ禍で外出が制限されるので体操を工夫し、室内で楽しんでいただけるようなレクリエーションを行いました 玄関の施錠は命を守る為に必要と機会があるたびに発信してきました 	<ul style="list-style-type: none"> 今年もコロナ禍であり事業所内で会議ができなかったため利用者様の表情などは見ていないが、ショートムービーやホッとあわやまなどを見ていると楽しそうにしているのが伝わります ダイルールの大きな窓から季節を感じる景色が見られ、あふれる陽ざしのもと、ゆったりと過ごせて理想的です 玄関の施錠は必要です 	<ul style="list-style-type: none"> これからも感染予防に充分配慮した環境を継続します ダイルールの大きな窓から季節を感じられ、家庭的な日常音、料理の匂いや利用者、職員の笑い声があふれる居心地の良い空間を守り継続します。 玄関の施錠は防犯上必要だと機会があるたびに発信していくことを継続します
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> コロナが終息したら家族同士の交流の場となるように「家族の会」を開催します 粟山神社の「地域の茶の間」に利用者様が楽しめる内容の時に参加します 事業所の行事に合わせて地域の方が楽しみながら足を運んでもらえるように「美術」の機会を充実させます。 案内文や回覧板には作品を載せて参加を募り「機会」を充実させ深めます 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍のため「家族の会」はできませんでした コロナ禍のため粟山神社の「地域の茶の間」には参加できませんでした 近隣の方達と日常的に挨拶や関わりを深められるように心がけました コロナ禍の為、地域の方々をお呼びできるような行事を開催することはできませんでした 	<ul style="list-style-type: none"> 「家族の会」が実現できるといいですね 近隣の方と良い関係づくりのために「挨拶の一声がけ」は継続してください コロナも落ち着いてきたので「地域の茶の間」の利用者様が楽しめる機会に参加するといいですよ 	<ul style="list-style-type: none"> コロナが終息したら「家族の会」や地域の方を招いて「美術」を開催し交流の場をつくります 近隣の方達と良い関係づくりのために「挨拶の一声がけ」を継続します コロナが終息したら 地域の催しのお祭りや防災訓練に参加します 粟山神社の「地域の茶の間」に利用者様が楽しめる機会に参加します

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナが終息したら外出を楽しんでいただく機会を多くつくります ・これからも民生委員さんやご近所さんとコミュニケーションを多くとりながら地域で生活が継続できるように協力がいただけるような良い関係づくりを目指します ・これからも利用者以外のよろず相談や支援を継続します 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの状況をみながら、わずかな回数でも外出し楽しんでいただきました ・民生委員さんやご近所さんとコミュニケーションをとりながら協力してもらい、今までの暮らしが継続できています ・利用者以外の支援も行いました 	<ul style="list-style-type: none"> ・行き慣れたスーパーと一緒に出掛けていることはいいことですね ・民生委員さんやご近所さんとコミュニケーションをとりながら協力してもらい、地域で支えてもらっていることは大事なことです ・個人情報も大切ですが、「助けられ上手」になれるといいですね 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの状況をみながら外出を楽しんでいただく機会を多く作ります ・これからも民生委員さんやご近所さんとコミュニケーションを多くとりながら地域で生活が継続できるように協力がいただけるような良い関係づくりを継続します ・これからも利用者以外のよろず相談や支援を継続します
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で提案された意見は誠実に向き合い活かしていきます ・季節を通した定期的な行事でも唯一の行事と捉え深めていきます ・「苦情」「ヒヤリハット」「事故」など積極的に向き合っているが繰り返し発生しているので、今年度も事案を掘り下げることを職員間で徹底し、積極的に1人1人のケアに向き合い改善策に取り組みます 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議より出された提案や意見は尊重し誠実に向き合い活かしてきました ・季節を通した定期的な行事は「唯一」の行事と捉えて大切に行いました ・リスク担当を中心にヒヤリハットや事故報告書の記録を積極的に残し、報告書にまとめ、会議で話し合うことで、再発防止を意識し、改善策に取り組みました 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議では事業所の様々な取り組みが説明されています ・季節の行事を大切に考えて実施していることがよくわかります ・毎回のヒヤリハット、事故報告で一生懸命取り組んでいることが分かります。これからも再発防止のためにしっかりと取り組んでください 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議で提案された意見は誠実に向き合い活かしていきます ・季節を通じて定期的な行事でも唯一の行事と捉え大切に行っていきます ・「苦情」「ヒヤリハット」「事故報告書」など積極的に向き合っているが繰り返し発生しているので今年度も事案を掘り下げることを職員間で徹底し積極的に1人1人のケアと向き合い、改善策に取り組むことを継続します
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害、防災に向けて危機管理を意識し手順、方法を職員間で確認、共有、訓練をして実践力を身につけていきます ・災害時の備蓄の食料の期限の確認や補充 ・近隣の方から応援をいただけるように普段から「一声がけ」を職員全員で取り組み良い関係づくりを継続します 	<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回通報訓練、初期消火、避難訓練と合わせて自然災害に向けた訓練を緊急時マニュアルに沿って訓練を実施しました ・災害時の食料、防災備品の確保、消費期限の確認を行いました ・近隣の方々とは普段からこちらから挨拶や声がけをして良い関係づくりを心がけました 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災訓練が再開されたら参加してください ・自然災害も多く有り、利用者様の生命身体を守る項目なので、訓練を訓練のままにしないで、熟度を上げるためにも繰り返しの訓練は必要です ・緊急時に備えて確認、近隣の方との関係づくりが必要です ・電気が使えなくなった時に対応ができるように何度も再確認しておくとうよい 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害、防災に向けて危機管理を意識し手順、方法を職員間で確認、共有、訓練をして実践力を高めていきます ・災害時の備蓄の食料の期限の確認や補充 ・近隣の方から応援をいただけるように普段から「一声がけ」を職員全員で取り組み良い関係づくりを継続します

